



ゲストルームやエレベーターは？管理会社が在宅勤務になったら？ マンション内新型コロナ感染拡大防止 Q&A

日に日にその勢いを増す新型コロナウイルスの国内感染。事態が刻々と変わる中、もしマンション内で新型コロナ感染者が発生したらどうすればいいのか？管理組合は感染防止にどんなことをしたらいい？そんな不安や疑問をお持ちの理事さんもおられます。

そこで、**業界初の個人向け総合不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション管理組合向けコンサルティングを行う「不動産の達人 株式会社さくら事務所」（東京都渋谷区／社長：大西倫加）**では、**マンション内でのクラスター発生を防ぐための新型コロナ感染拡大防止策 Q&A を作成・無償**

配布いたしました。多数の居住者が使用するエレベーターでの感染防止策、管理会社が在宅勤務になることも想定したリスクヘッジ、マンション内の消毒はどこまでお願いできるのか、などマンション内感染防止策について具体的に解説しています。くわしいご取材や転載をご希望の方は広報室までお気軽にご連絡ください。



マンション内クラスター発生を防ぐ！

マンションでできる新型コロナ感染拡大防止策 Q&A

ご質問（抜粋）

- ・エレベーターも密閉空間ですね？感染を防ぐには？
- ・管理会社が在宅勤務になったら？
- ・ゲストルームの使用を制限することはできますか？
- ・感染防止の消毒、管理会社にどこまでお願いしていいの？
- ・総会や理事会の開催はどうしたらいい？

Q&A リストのダウンロードと解説はこちらから・・・

<https://www.s-mankan.com/information/5175/>

マンション内クラスター発生を防ぐ！ 新型コロナ感染拡大防止策 Q&A

Q. マンションのエレベーターも密閉空間ですね？感染を防ぐには？

一般にエレベーターかた内には換気扇または換気口が設置されています。節電対策として換気扇が止められているマンションは作動させましょう。

Q. 管理組合として感染防止策はどこまですべきでしょうか？

管理組合で感染防止策まで法的責任を負うとは考え難いでしょう。とはいえ、明文化されていない部分に関する管理規約等の解釈を行うこととなりますので、「区分所有者に理解を求める姿勢」や「その根拠を明確にする情報開示」は必要になると考えられます。

Q. ゲストルームなどの外部者のマンション内立ち入りを制限することはできますか？

理事会の決議を経て一定の利用を制限することも不可能ではないでしょう。

Q. 感染防止の消毒、管理会社にどこまでお願いしていいの？

マンション内の感染防止には、毎日人が触れるところ（スイッチ、手袋、エレベーターのボタン等）をこまめに消毒することが重要です。日々の管理員や清掃員業務として対応しましょう。

Q. 管理会社が在宅勤務になるようなことは考えられますか？

感染拡大に伴い、管理会社契約に基づく業務代行が難しくなるケースも留意考えられます。事前に緊急時、どこまでの業務がしてもらえるのか話し合っておきましょう。

Q. 感染拡大するのでは？集まらない理事会や総会ってできませんか？

理事会では急き検査を受ける課題がある場合に限り開催とし、オンライン開催も推奨しています。総会は緊急時の緊急のみ上げ、議決権行使書を出してもらって開催、というケースもあります。

くわしい解説はこちら・・・<https://www.s-mankan.com/information/5175/>

sakura

マンション管理組合のサカ

©Sakurajimusyo 2020

TEL: 0120-390-502

（受付時間10:00～19:00）土休日も受付

URL: <https://www.sakurajimusyo.com>

■不動産の達人 株式会社さくら事務所■（東京都渋谷区／代表取締役社長：大西倫加）

<https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行なう「不動産の達人サービス」を提供、48,000組を超える実績を持っています。

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社さくら事務所

東京都渋谷区桜丘町 29-24 桜丘リージェンシー101

<https://www.sakurajimusyo.com/>

TEL 03-6455-0726

FAX 03-6455-0022

マーケティング・コミュニケーション部：

川崎 徳子 press@sakurajimusyo.com